



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 三共生興株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 井ノ上 明
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 下川 浩一 (TEL) (06) 6268-5188
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,345	3.8	258	3.4	597	16.3	480	△23.9
2022年3月期第1四半期	3,222	△6.0	249	105.9	513	14.0	631	3.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 738百万円(42.1%) 2022年3月期第1四半期 519百万円(△18.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 10.80	円 銭 —
2022年3月期第1四半期	円 銭 14.45	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第1四半期	百万円 49,811	百万円 39,333	% 78.4
2022年3月期	50,683	39,666	77.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 39,028百万円 2022年3月期 39,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 24.00
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 18.00
2023年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	0.5	1,700	△2.5	2,200	△6.4	1,700	△20.5	38.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	58,000,000株	2022年3月期	58,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	13,498,418株	2022年3月期	13,498,418株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	44,501,582株	2022年3月期1Q	43,705,182株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染者の減少に伴う人流の回復により、個人消費が堅調に推移したものの、急激な円安、原材料価格の上昇や原油価格の高騰、新型コロナウイルス感染症の再拡大の兆しがみられるなど、予断を許さない状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、行動制限の緩和により、徐々に外出需要が回復してきた一方で、新型コロナウイルス感染症の再拡大による消費マインドの冷え込みが懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、3ヶ年の中期経営計画「CHALLENGE NEXT 100」の2年目を迎え、引き続き、3つの基本戦略である「アジア市場」「DX推進」「全社戦略」を中心に、経営資源を有効活用し、企業価値向上、収益拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比3.8%増の3,345百万円となり、営業利益は前年同期比3.4%増の258百万円、経常利益は前年同期比16.3%増の597百万円となりました。前年同期に特別利益としてリース解約益164百万円があったことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比23.9%減の480百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

英国ブランド「DAKS」を軸に、国内をはじめ、中国・香港・マカオ・台湾・韓国・タイなどのアジア市場において、ブランド価値向上を重視し、EC販売の強化など、ブランドビジネスの展開拡大を図っております。

国内事業は、「DAKS」「LEONARD」を百貨店などに販売する国内子会社では、プロパー販売を重視し、粗利率の向上に努めるなど、収益体質の強化策を推し進め、市場環境も新型コロナウイルス感染者の減少に伴い堅調に推移したこともあり、増収増益となりました。

海外事業は、「DAKS」などを展開するアジア市場において、事業展開の拡大を推し進めており、前年同期と比して店舗増加などにより増収、出店に伴う人件費など経費の増加がありましたが、増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比16.0%増の1,599百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比29.1%増の277百万円となりました。

② 繊維関連事業

製品OEM事業は、依然として厳しい市況が続く、受注競争が加速する中、販売面においてはスポーツ、アウトドア、イエナカ分野などへの取り組みを強化し、生産面においては顧客ニーズに対応した商品の供給体制を整備することにより、重点取引先とのビジネス拡大を図っております。

しかしながら、上海ロックダウンにより一部物流網が停滞し、商品の納期ズレが生じたことなどにより減収、急激な円安に加え、原材料価格の上昇、輸送費の高騰など、コスト高の影響により、営業損失となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比11.4%減の1,313百万円、セグメント損失(営業損失)は68百万円(前年同期は20百万円のセグメント損失)となりました。

③ 不動産関連事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸などの不動産に係る賃貸事業は、稼働率が安定的に推移し、イベントホール事業は、イベント数が増加、内装工事業は、工事件数が増加いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比14.5%増の499百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比16.4%増の162百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,185百万円（5.6%）減少し、20,036百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が869百万円減少、現金及び預金が601百万円減少したことなどによるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて313百万円（1.1%）増加し、29,775百万円となりました。これは、投資有価証券が191百万円増加、商標権が119百万円増加したことなどによるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて517百万円（8.4%）減少し、5,656百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が394百万円減少したことなどによるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて22百万円（0.5%）減少し、4,821百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が12百万円減少したことなどによるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて332百万円（0.8%）減少し、39,333百万円となりました。これは、利益剰余金が586百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,414	15,812
受取手形及び売掛金	3,267	2,397
商品及び製品	1,243	1,518
仕掛品	0	4
原材料及び貯蔵品	5	8
未収還付法人税等	25	35
その他	267	261
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	21,221	20,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,769	6,727
土地	2,950	2,950
使用権資産（純額）	191	224
その他（純額）	83	80
有形固定資産合計	9,995	9,984
無形固定資産		
商標権	4,008	4,128
その他	71	68
無形固定資産合計	4,080	4,196
投資その他の資産		
投資有価証券	14,840	15,032
退職給付に係る資産	9	9
その他	554	570
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	15,386	15,594
固定資産合計	29,462	29,775
資産合計	50,683	49,811

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,795	1,400
短期借入金	2,820	2,820
リース債務	218	229
未払金	40	55
未払費用	634	442
未払法人税等	121	13
その他	543	694
流動負債合計	6,173	5,656
固定負債		
リース債務	48	47
繰延税金負債	3,611	3,661
退職給付に係る負債	279	267
長期預り金	767	796
その他	136	49
固定負債合計	4,844	4,821
負債合計	11,017	10,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,106	6,106
利益剰余金	29,609	29,023
自己株式	△5,108	△5,108
株主資本合計	33,607	33,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,393	7,430
繰延ヘッジ損益	11	28
為替換算調整勘定	△1,663	△1,463
退職給付に係る調整累計額	12	11
その他の包括利益累計額合計	5,754	6,007
非支配株主持分	304	305
純資産合計	39,666	39,333
負債純資産合計	50,683	49,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	3,222	3,345
売上原価	1,854	1,866
売上総利益	1,367	1,479
販売費及び一般管理費	1,117	1,221
営業利益	249	258
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	246	286
為替差益	6	43
その他	33	17
営業外収益合計	287	346
営業外費用		
支払利息	13	4
その他	10	2
営業外費用合計	23	7
経常利益	513	597
特別利益		
助成金収入	30	16
リース解約益	164	—
特別利益合計	194	16
特別損失		
臨時休業等による損失	※ 42	—
特別損失合計	42	—
税金等調整前四半期純利益	665	614
法人税、住民税及び事業税	70	106
法人税等調整額	△43	22
法人税等合計	27	129
四半期純利益	637	485
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	631	480

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	637	485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△133	37
繰延ヘッジ損益	△9	16
為替換算調整勘定	25	200
退職給付に係る調整額	△0	△1
その他の包括利益合計	△118	253
四半期包括利益	519	738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	513	733
非支配株主に係る四半期包括利益	6	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※臨時休業等による損失

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言に伴う店舗等の休業期間中に発生した固定費(人件費等)を「臨時休業等による損失」として特別損失に計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,379	1,450	392	3,222	—	3,222
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	31	43	75	△75	—
計	1,379	1,482	435	3,297	△75	3,222
セグメント利益又は損失(△)	214	△20	139	334	△84	249

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△84百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△132百万円及びセグメント間取引消去等47百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,599	1,287	458	3,345	—	3,345
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	25	40	66	△66	—
計	1,599	1,313	499	3,412	△66	3,345
セグメント利益又は損失(△)	277	△68	162	371	△113	258

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△113百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△143百万円及びセグメント間取引消去等29百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2022年6月23日開催の取締役会において、LEONARD FASHION SAS（以下、LEONARD社）の全株式を取得し、子会社化することについて決議すると共に、同日株式譲渡契約を締結し、2022年7月19日付で全株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 LEONARD FASHION SAS

事業の内容 アパレル製品等の製造、販売及びライセンス事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、LEONARD社と1971年に独占輸入販売契約を締結以降、50年を超える良好なパートナーシップを築いてまいりました。

今般、当該ブランドの更なる発展についてLEONARD社の株主である経営陣と協議を重ねました結果、当社が当該会社の株式を100%取得し、事業承継することとなりました。

LEONARD社が当社グループの傘下に入ることにより、将来を見据えた一貫したブランド戦略の構築が可能となり、「LEONARD」の更なるブランドステータスの向上や事業展開の拡大が図れるなど、ブランドビジネスの強化、発展に寄与するものと判断しております。

(3) 企業結合日

2022年7月19日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得価額につきましては、相手先との間で秘密保持契約を締結しているため、開示を控えさせていただきます。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。